



南郷

札幌市立南郷小学校 臨時学校だより
令和8年9月11日

【学校電話】011-861-9305

【学校ホームページ】

<https://www.nango-e.sapporo-c.ed.jp/>

全国学力・学習状況調査の結果について

秋分の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

さて、4月に実施された『全国学力・学習状況調査』（6年生対象）の本校の結果概要をお知らせ致します。調査を受けた6年生児童の保護者の皆様には、正誤等が記された個人票を7月に配付しております。

本校においては今回の調査結果を6年生のみの課題としてではなく、本校で学習してきた児童の姿として『学校全体の課題』であると受け止め、今後全学年を通して指導の改善を進めていきたいと考えております。今回の結果を基に、授業において指導方法を工夫し、よりきめ細かく家庭・地域と連携を図り、引き続き教育活動の改善を行って参りたいと考えております。保護者・地域の皆様には、一層のお力添えをお願い申し上げます。

なお、今回の調査により分かったことは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解ください。

生活習慣・学習環境等に関する質問調査

【全国平均と比べて肯定的な回答が上回っている項目】

- | | |
|---|-----------------|
| ・自分には、よいところがあると思いますか。 | 90.1%（全国 85.6%） |
| ・先生は、あなたのよいところを認めてくれますか。 | 96.3%（全国 91.4%） |
| ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 | 80.2%（全国 70.6%） |
| ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 | 85.1%（全国 77.9%） |
| ・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。 | 80.3%（全国 69.6%） |
| ・分からないことやよくわく知りたいたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。 | 87.6%（全国 79.4%） |
| ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。 | 88.9%（全国 85.7%） |
| ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 | 83.9%（全国 78.4%） |
| ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところを分かるまで教えてくれていると思いますか。 | 95.0%（全国 87.3%） |

【全国平均と比べて肯定的な回答が下回っている項目】

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ・朝食を毎日食べていますか。 | 88.9%（全国 93.3%） |
| ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。 | 69.2%（全国 82.8%） |

本校の今後の取組

『自分にはよいところがある』と感じている児童が多く、『先生が自分のよさを認めてくれている』『困ったときには先生や学校にいる大人に相談できる』といった項目も全国平均を上回りました。子どもたち一人一人が認められ、安心して学校生活を送ることのできる環境が育まれていることがうかがえます。今後も、子どもたちの思いに丁寧寄り添いながら、学校が安心して過ごせる場所で在り続けられるよう、取り組んで参ります。また、学習面においても、自ら考え、対話を通して学ぼうとする意識の高さが見られました。一方で、『毎日朝食を食べる』『毎日同じくらいの時刻に寝る』といった生活習慣に関する項目は全国平均を大きく下回りました。心身ともに健やかに成長し、充実した学校生活を送るためにも、基本的な生活習慣を整えることは大切です。今後も、御家庭の御理解と御協力をいただきながら、望ましい生活習慣が身に付くよう努めて参ります。

教科に関する調査結果の概要及び改善の方向性について

本校の概要

領域別の課題

改善の方向性

国語

『言葉の特徴や使い方に関する事項』

◎全国平均を上回っている。

『情報の扱い方に関する事項』

▼全国平均を下回っている。

『話すこと・聞くこと』

◎全国平均を上回っている。

『書くこと』

▼全国平均を下回っている。

『読むこと』

▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

● 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。【言葉の特徴や使い方に関する事項】

● 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解すること。【情報の扱い方】

● 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うこと。【情報の扱い方】

● 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。【書くこと】

● 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。【書くこと】

● 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。【読むこと】

○ 文章中の特徴的な表現に着目し、その効果を考える活動を取り入れ、言葉の働きや表現の工夫に気付く力を育む。【言葉の特徴や使い方に関する事項】

○ 複数の情報を比較・分類したり関係付けたりしながら整理する活動を取り入れ、情報同士のつながりを捉えて、必要な情報を選択・活用する力を育む。【情報の扱い方】

○ 伝えたい内容とその根拠となる情報を整理し、目的や相手に応じて構成を考える時間を設定し書いた文章を読み返して内容や構成を改善する活動の充実を図る。【書くこと】

○ 文章の構成や叙述に着目して内容を捉え、文章から読み取ったことを根拠にして自分の考えを形成する活動の充実を図る。【読むこと】

【読むこと】

算数

『数と計算』

▽全国平均とほぼ同程度だが、やや下回っている。

『図形』

▼全国平均を下回っている。

『測定』

◎全国平均を上回っている。

『変化と関係』

▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

『データの活用』

▽全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

● 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶこと。【数と計算】【変化と関係】

● 整数と小数の減法の計算をすること。【数と計算】

● 単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えること。【数と計算】

● 立方体の体積の計算による求め方について理解していること。【図形】

● 直方体の箱の形を構成する面について理解していること。【図形】

● 百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。【変化と関係】

● 示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すること。【データの活用】

○ マス目や数直線、図を活用して数値の全体像や位のそろえ方を視覚的に捉え、考え方の根拠を言葉や文章で表現する活動の充実を図る。【数と計算】

○ 見取り図や展開図に補助線を描き加えたり、向かい合う面や平行・垂直な関係を言葉で確認したりする活動を通して、立体の概念を平面上で正しく再現し、公式の意味を理解して課題解決に生かす力を高める。【図形】

○ 文章中の『もとにする大きさ』と『比べる大きさ』を色分けしたり、二つの量の関係を線分図で表したりすることで、問題場面に応じた適切な立式を行う力を養う。【変化と関係】

○ 複数の表やグラフを見比べて誤りや特徴を見つけ出す活動を取り入れ、どの数値に着目したのかを『数』と『言葉』を用いて論理的に相手へ伝える活動の充実を図る。【データの活用】

【全国平均正答率との差の表記】

- ・ ◎+3.1 ポイント以上
- ・ ○+3.0 ポイントの範囲内で全国平均以上
- ・ □全国平均と同じ
- ・ ▽-3.0 ポイントの範囲内で全国平均以下
- ・ ▼-3.1 ポイント以下

教科に関する質問調査

【全国平均と比べて肯定的な回答が上回っている項目】

- | | |
|---------------------------------------|------------------|
| ・国語の勉強は好きですか。 | 64.2% (全国 57.4%) |
| ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 | 97.5% (全国 90.4%) |
| ・算数の勉強は好きですか。 | 64.2% (全国 57.6%) |
| ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 | 96.3% (全国 91.0%) |
| ・英語の勉強は得意ですか。 | 64.2% (全国 59.8%) |
| ・英語の勉強は好きですか。 | 71.6% (全国 66.7%) |

【全国平均と比べて肯定的な回答が下回っている項目】

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか。 | 39.5% (全国 45.4%) |
|--------------------------------------|------------------|

本校の今後の取組

国語・算数・英語の全ての教科で『好き』『得意』と肯定的に捉えている児童の割合が全国平均を上回っており、子どもたちが日々の学習に前向きに取り組んでいる様子がうかがえます。特に国語や算数においては、9割以上の子どもたちが『学びが将来役に立つ』と実感しており、学習の価値を理解しながら意欲を深めています。

一方で、『将来、積極的に英語を使う生活や職業に就きたいか』という質問に対しては、全国平均を下回る結果となりました。今後は、英語を学ぶ楽しさや得意意識を生かしつつ、実際の生活や将来の夢と英語の学びがどのように結び付くかを実感できるような機会を増やし、子どもたちが未来に目を向けながら主体的に学ぶ授業づくりを進めていきます。

その他の教科につきましても、子どもたちが生き生きと学び、自ら成長を実感できる授業づくりに全校一丸となって取り組んでいきます。

全国基準と比較した 本校の学力・生活習慣の現状

【グラフの見方】

黒丸(円線): 全国基準(平均)
カラー(面): 本校の児童の現状

